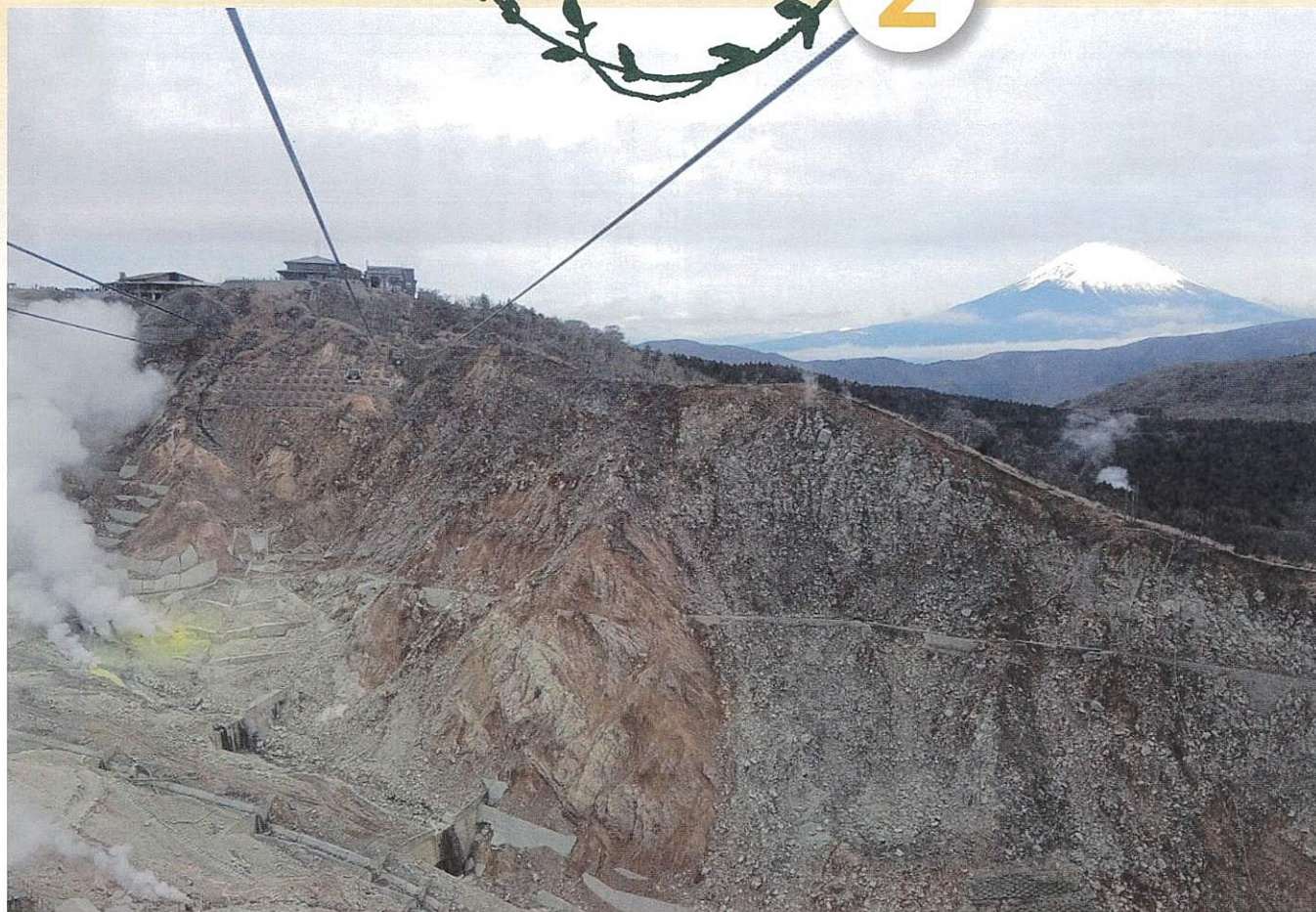


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



大涌谷と富士山(神奈川県足柄下郡箱根町)

西徳寺の予定

2月

- 1日(日) 午後2時半 城東ブロック会間法会
場所:西徳寺
- 5日(木) 午後3時 総代会
- 8日(日) 午後2時半 城南ブロック会間法会
場所:横浜市関内
- 18日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 21日(土) 午後2時 定例間法会
- 25日(水) 燈虹塾セミナー
- 28日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話:高橋 淳

3月

- 1日(日) 午後2時 評議員会役員会
- 4日(水) 午前10時 仏具磨き
- 8日(日) 午後2時半 城北ブロック会間法会
場所:王子 北とびあ
- 11日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 14日(土) 午後2時 定例間法会
- 17日(火)～23日(月) 春季彼岸会
- 22日(日) 春季永代経法要
聖徳太子奉讃会
本山差向布教
布教使:杲 教順師
- 28日(土) 午後5時15分 同行会修習式
法話:仲井 真裕

※予定は変更することがあります。詳しくは寺務所までお問合せください。

2月の山門の言葉



酒はこれ、忘憂の名あり 『口伝鈔』

西徳寺に入寺してから、まもなく十七年が経つ。今までご縁をいただいた葬儀は二百を超える。大切なお身内とのお別れは様々である。笑顔で送り出せる時、深い悲しみに包まれる時……。

『口伝鈔』には、親鸞聖人のこんな言葉が残されている。「酒はこれ忘憂の名あり、これをすすめてわらうほどになぐさめて、さるべし」と。酒には忘憂という別名がある。別離の縁に遇う人には酒を勧め、共に飲んで笑い、慰めて立ち去ればよい。これが弔いではないかと言う。

真宗佛光寺派の勤行聖典「葬儀表白」には、「凡そ生を受くるものは必ず死に帰す 諸行無常の理はすでに釈迦牟尼仏の我等に示し給ひし真理にして 何ぞ驚くに足らんや」。その後、「この不定の相に会いて 恩愛の情断ち難く 嘆き悲しむはまた人の世の常なり」とある。

諸行無常は真理であり、別離の悲しみ、それは個人の体験ではなく、人の世の常なのだ。言葉にすればその通りであるが、悲しみに直面した人はすぐに領けない言葉ではないだろうか。しかし二十代で奥さんを亡くしたご門徒が、三回忌を迎えた後、「自分が死んだわけではない、と思うようにしました」と言っていた。忘れるとか忘れないでなく、悲しみを背負って私は今を生きる、その決意の表れだったのだろう。その彼とは、今では飲み友達である。

仏事での飲物は、酌み交わすように瓶で提供される。酒で憂いを忘れることはできない。しかし、まず心を打ち明けられる人、一緒に涙を流してもらえ人がある。それが一つの救いなのであろう。

酒の別名である忘憂、それは悲しみを縁として、個人から解放される道があるのだと、人の世が勧めているのである。人は悲しみと共に生きるのだ。

しかし昨年の健康診断で肝臓の数値が悪かった私は、酒とは適度な付き合いが必要である。

(仲井 真裕 記)

顧問のカレンダーに聞く

いっさい しやじよう

一切衆生の

救われる道でなければ

自分は救われない

If there is not a way to save all life, then there is no way for me to be saved.

一切衆生の救われる道を聞くのが、南無阿弥陀仏、念仏の歩みであります。しかし、教えを学んでいくうちに、知識化し、善悪の価値観に縛れることがあります。そうなると一切衆生ではなく私個人の救いになってしまいます。

南無阿弥陀仏は善悪に縛られる私から解放され、一切衆生とともに

言葉なのです。どこ

までも救われる身と

して、お念仏の教え

を聞いていきたいも

のです。

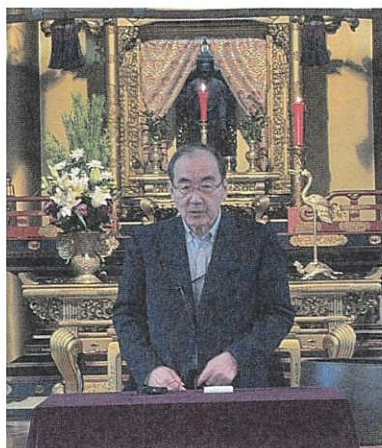


評議員会新年会

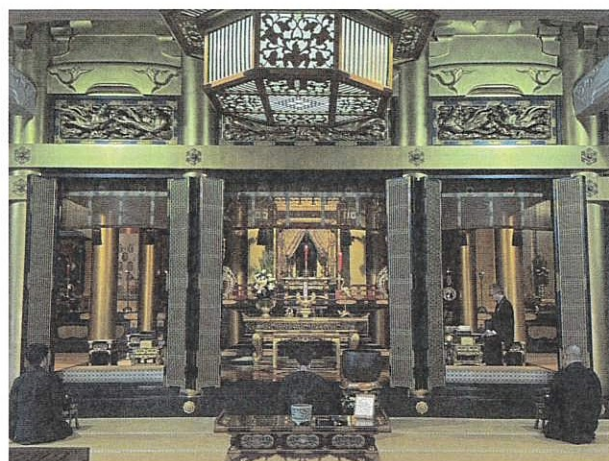
1月18日、西徳寺において評議員会新年会を開催いたしました。

この度は、長年にわたり評議員会会長としてお支えくださった竹内乾一郎会長のご往生に際し、生前のご厚誼とご尽力に深く感謝申し上げ、謹んで法要を勤めさせていただき、出席者一同、竹内会長のお人柄を憶念しつつ、生前のご遺徳を偲びました。

また、当日は小田周太郎責任役員総代様をご来賓としてお迎えし、ご挨拶を賜りました。ご出席賜りました皆様には厚く御礼申し上げますとともに、今後とも評議員会の皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。
(担当：大橋 伊知郎 記)



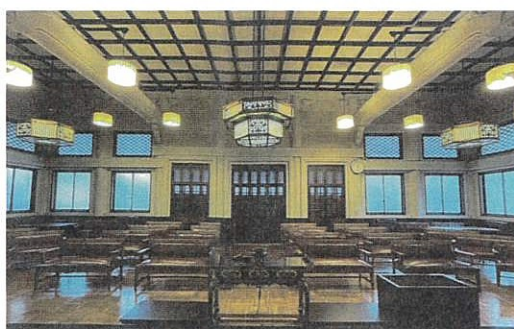
小田責任役員総代



西徳寺本堂令和大改修 耐震工事

今年10月から始まる本堂大改修の内容は、「屋根総葺き替え」と「耐震工事」となります。本堂特有の、開口部に壁が少ない構造から、バランスが悪いというご指摘がありました。そこで前面に壁を増やす施工をいたします。
(住職 山崎 哲 記)

改修前
(現在)



改修後
(イメージ)



西徳寺ホームページリニューアル!!

長らく西徳寺のホームページは法務員の手作りで運営しており、基本的にはご門徒の皆様に向けての情報発信が中心でありました。

歌舞伎の中村屋の菩提寺であることや、近々では西徳寺本堂が「登録有形文化財」に認定されました。西徳寺が多くの方に認知されてきたことを鑑み、この度機縁が熟し、ホームページを新しくする運びとなりました。

法事や葬儀の流れ等、今まで以上にご門徒の皆様への情報発信を強化し、ご門徒以外の方にも興味を持っていただけの内容となっていると思います。

多くの方に西徳寺を知っていただき、寺に足を運んでいただける一助となることを願っています。



新URL: <https://saitoku-ji.jp>

えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

大阪府 光明寺 様
千葉県 土居 範行 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、愚禿が心を顕す～

先日、真宗教団連合の研修会で大阪と奈良に行ってきました。他派である木辺派の方と親しくなり、派による違いや共通の課題についてお酒を飲みながら話ができて、楽しい時間を過ごすことができました。研修のテーマはデリケートなものでしたが、講師の方が「どんな問題も歴史と私が繋がらなければ対策にしかない」と仰ったように、正しさばかりを押し付けあう中に、私たち僧侶はどう向き合うのか、とても考えさせられました。

表紙の写真は、年明けに両親と私たち家族で行った箱根旅行の際に撮ったものです。高所恐怖症の私に代わって、長女が撮影してくれました。



大涌谷「息吹のデッキ」

(編集長 仲井 真裕 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook